

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-57056  
(P2001-57056A)

(43) 公開日 平成13年2月27日 (2001. 2. 27)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード (参考)
G 1 1 B 27/00		G 1 1 B 27/00	5 C 0 5 3
27/031		H 0 4 N 5/91	J 5 D 1 1 0
H 0 4 N 5/91			Z
		G 1 1 B 27/00	A
		27/02	A
審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)			

(21) 出願番号 特願平11-233031

(22) 出願日 平成11年8月19日 (1999. 8. 19)

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 赤石 信之

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

Fターム (参考) 5C053 FA08 FA23 GA20 GB09 GB11

HA30

5D110 AA08 AA29 CA05 CA10 CC04

CJ06 CJ09 DA04 DA09 DA14

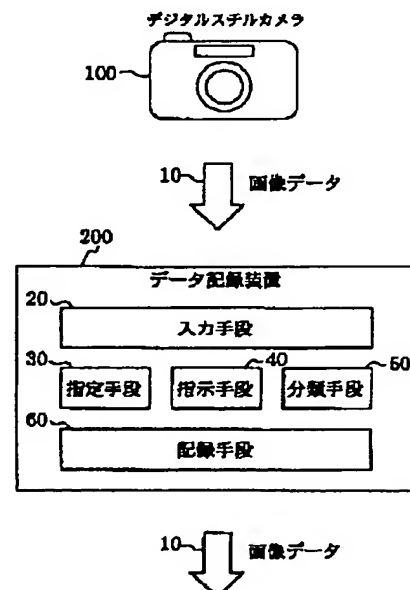
DC05 DC06 DE04

(54) 【発明の名称】 データ記録装置

(57) 【要約】

【課題】 デジタルスチルカメラなどの外部装置によって収録された画像データや音声データを、外部装置に内蔵されたメモリやメモリカードなどとは別の記録媒体に転送し記録する際に、記録後の検索が容易になるように、データを格納するフォルダを分類して、属性の共通するデータごとに該当するフォルダに格納し記録することができるデータ記録装置を提供する。

【解決手段】 デジタルスチルカメラ100から画像データ10を取り込む入力手段20と、画像データ10をフォルダに格納して記録媒体300に記録する記録手段60と、フォルダを画像データ10の属性情報別に分類する分類手段50とを備え、取り込んだ画像データ10を記録媒体300に記録する際、属性の共通するデータごとに該当するフォルダに格納するように構成した。属性情報とは、撮影日付情報や機種情報などである。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 外部装置から画像データや音声データを取り込む入力手段と、取り込んだデータをフォルダに格納して記録媒体に記録する記録手段と、フォルダをデータの属性情報別に分類する分類手段とを備え、外部装置から取り込んだデータを記録媒体に記録する際、属性の共通するデータごとに該当するフォルダに格納するように構成したことを特徴とするデータ記録装置。

【請求項2】 前記分類手段は、外部装置から取り込んだデータに添付された収録日付情報に基づいてデータを格納するフォルダを分類し、前記記録手段は、収録日付の共通するデータごとに該当するフォルダに格納することを特徴とする請求項1記載のデータ記録装置。

【請求項3】 前記分類手段は、外部装置から取り込んだデータに添付された機種情報に基づいてデータを格納するフォルダを分類し、前記記録手段は、機種の共通するデータごとに該当するフォルダに格納することを特徴とする請求項1記載のデータ記録装置。

【請求項4】 フォルダの分類項目を指定するための指定手段を備え、前記分類手段は、当該指定手段により指定された分類項目情報に基づいてデータを格納するフォルダを分類し、前記記録手段は、分類項目の共通するデータごとに該当するフォルダに格納することを特徴とする請求項1記載のデータ記録装置。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、デジタルスチルカメラなどの外部装置によって収録された画像データや音声データを、メモリカードなどの着脱可能な記録媒体や通信手段などを介して取り込み、上記外部装置に内蔵されたメモリやメモリカードなどとは別の記録媒体に転送し記録する機能を有するデータ記録装置に関する。

##### 【0002】

【従来の技術】従来、デジタルスチルカメラにより収録された画像データや音声データを、カメラに内蔵されたメモリやメモリカードとは別の記録媒体（MO、CD-R、CD-RWなど）に記録するための専用のデータ記録装置においては、撮影した日付や撮影に使用した機種などに関わらず、同時に選択された複数のデータは同一のフォルダ内にアルバム単位で格納して記録していた。その際、各アルバムには、撮影した日付や撮影に使用した機種などが共通もしくは関連するデータが収められるが、アルバムを格納するフォルダの分類はされていなかった（図3（a）、図4（a）、図5（a）および図6（a）など参照）。

##### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記のように、従来のデータ記録装置においては、撮影した日付や撮影に使用した機種が異なる場合でも、同時に選択された複数のデ

め、記録媒体の容量が大きくなればなるほど、記録後に希望するデータを探し出し難くなるという問題があった。つまり、記録媒体の容量が大きければ大きいほど、1つの記録媒体に記録できるアルバム数が増大するため、その中から希望のアルバムを検索することが困難になってくる。したがって、たとえばオフィスなどにおいて、複数のデジタルスチルカメラ使用者が1台のデータ記録装置を共用している場合、同一の記録媒体に複数の人が画像データや音声データを大量に記録してしまうと、各人が自分の記録したデータを探し出す際に非常に間取ることになる。本発明が解決しようとする課題は、デジタルスチルカメラなどの外部装置によって撮影あるいは録音された画像データや音声データを、外部装置に内蔵されたメモリやメモリカードなどとは別の記録媒体に転送し記録する際に、記録後の検索が容易となるように、データを格納するフォルダを分類して、属性の共通するデータごとに該当するフォルダに格納し記録することができるデータ記録装置を提供することにある。

##### 【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、請求項1記載の発明に係るデータ記録装置は、デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラ、パーソナルコンピュータなどの外部装置から画像データや音声データを取り込む入力手段と、取り込んだデータをフォルダに格納して記録媒体に記録する記録手段と、フォルダをデータの属性情報別に分類する分類手段とを備え、外部装置から取り込んだデータを記録媒体に記録する際、属性の共通するデータごとに該当するフォルダに格納するように構成したことを特徴とする。上記データ記録装置によれば、外部機器から取り込んだデータが属性の共通するデータ別に別々のフォルダに格納されて記録媒体に記録されるので、記録後のデータの検索が容易となる。また、請求項2記載の発明は、請求項1記載のデータ記録装置において、前記分類手段は、外部装置から取り込んだデータに添付された収録日付情報（撮影日付情報、録音日付情報）に基づいてデータを格納するフォルダを分類し、前記記録手段は、収録日付の共通するデータごとに該当するフォルダに格納することを特徴とする。上記データ記録装置によれば、外部機器から取り込んだデータが収録日付の共通するデータ別に別々のフォルダに格納されて記録媒体に記録されるので、記録後のデータの検索が容易となる。

【0005】また、請求項3記載の発明は、請求項1記載のデータ記録装置において、前記分類手段は、外部装置から取り込んだデータに添付された機種情報（そのデータの収録に使用した機種に関する情報）に基づいてデータを格納するフォルダを分類し、前記記録手段は、機種の共通するデータごとに該当するフォルダに格納することを特徴とする。上記データ記録装置によれば、外部機器から取り込んだデータが機種の共通するデータ別に

別々のフォルダに格納されて記録媒体に記録されるので、記録後のデータの検索が容易となる。また、請求項4記載の発明は、請求項1記載のデータ記録装置において、フォルダの分類項目を指定するための指定手段を備え、前記分類手段は、当該指定手段により指定された分類項目情報に基づいてデータを格納するフォルダを分類し、前記記録手段は、分類項目の共通するデータごとに該当するフォルダに格納することを特徴とする。上記データ記録装置によれば、外部機器から取り込んだデータが、ユーザにより指定された分類項目（たとえば、撮影日付、撮影場所、撮影内容、企画内容（ゴルフ、旅行など）など）別にフォルダの分類がなされ、分類項目の共通するデータ別に、別々のフォルダに格納されて記録媒体に記録されるので、記録後のデータの検索が容易となる。

#### 【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を用いて説明する。図1は本発明の実施の形態の一例を示す概略構成図である。この例は、デジタルスチルカメラ100で撮影した画像データを、本発明に係るデータ記録装置200を用いて記録媒体300に記録するシステム構成を示しており、データ記録装置200は、デジタルスチルカメラ100により撮影された画像データ10をデジタルスチルカメラ100の内部メモリやデジタルスチルカメラ100の着脱可能な記憶媒体（メモリカードなど）から取り込む入力手段20と、ユーザがフォルダの分類情報（分類項目）を指定するための指定手段30と、ユーザが記録処理の開始を指示するための指示手段40と、画像データ10を格納するフォルダを分類する分類手段50と、画像データ10を記録媒体300に記録する記録手段60とを備えている。デジタルスチルカメラ100により撮影された画像データ10には、撮影日付情報や機種情報といった属性情報が添付されている。

【0007】図2はデータ記録装置200の処理動作を例示したフローチャートである。データ記録装置200は、指示手段40より記録処理の開始が指示されると

（S1）、指示された処理が受付可能（OK）な状態であるかどうかを判断する（S2）。受付可能な状態であれば（S2でYes）、記録対象となる元の画像データを撮影し記録したデジタルスチルカメラ100（内部メモリ）もしくはデジタルスチルカメラ100によって元の画像データが記録されたメモリカードなどのソース側の記録媒体がデータ記録装置200に正しくセットされているかどうかを確認する（S3）。ソース側の記録媒体が確認されると（S3でYes）、MO、CD-R、CD-RWなど記録側の記録媒体300が正しくセットされているかどうかを確認する（S4）。記録側の記録媒体300が正しくセットされていることが確認できたら（S4でYes）、格納フォルダ設定処理（S5）に

進む。格納フォルダ設定処理（S5）では、フォルダを画像データ10の属性情報別に分類する処理が行われる。この処理は、画像データ10に添付された属性情報に基づき、あるいは指定手段30より入力された分類情報に従ってなされる。フォルダの分類が設定完了したならば（S6でYes）、元の画像データが記録されている記録媒体（デジタルスチルカメラの内部メモリやメモリカード）からの画像データ10の取り込みを開始し、順次記録媒体300に記録する（S7）。そして、あらかじめ設定された属性情報、あるいはユーザにより指定された分類情報に基づいてフォルダを分類し、すべての画像データを該当するフォルダに格納して記録媒体300に記録し終えたら（S8でYes）、この記録処理ルーチンを終了する。画像データに添付された撮影日付情報をもとに、格納フォルダを分類する場合、日別、月別といったフォルダの分類がなされ、撮影日付の共通するデータごとに該当するフォルダにアルバム単位で格納される（請求項2に対応）。図3（b）はフォルダを撮影月で分類した場合における記録形態を例示している。この例では、1月～3月の月別フォルダ1～3が作成され、フォルダ1には1月に撮影した画像データを収めたアルバム1～3が、フォルダ2には2月に撮影した画像データを収めたアルバム4が、フォルダ3には3月に撮影した画像データを収めたアルバム5、6が、それぞれ格納されている。

【0008】また、画像データに添付された機種情報をもとに、格納フォルダを分類する場合、機種別にフォルダの分類がなされ、撮影に使用した機種の共通するデータごとに該当するフォルダにアルバム単位で格納される（請求項3に対応）。図4（b）はフォルダを機種で分類した場合における記録形態を例示している。この例では、DC-1～DC-3の機種別フォルダ1～3が作成され、フォルダ1にはDC-1という機種の装置で撮影した画像データを収めたアルバム1、2、4が、フォルダ2にはDC-2という機種の装置で撮影した画像データを収めたアルバム6が、フォルダ3にはDC-2という機種の装置で撮影した画像データを収めたアルバム3、5が、それぞれ格納されている。また、指定手段30により指定された分類情報をもとに、格納フォルダを分類する場合、ユーザにより指定された分類項目（たとえば、撮影日付、撮影場所、撮影内容、企画内容（ゴルフ、旅行など）など）別にフォルダの分類がなされ、分類項目の共通するデータごとに該当するフォルダにアルバム単位で格納される（請求項4に対応）。図5（b）は分類項目として撮影者を指定し、フォルダを撮影者で分類した場合における記録形態を例示している。この例では、「Aさん」、「Bさん」および「Cさん」の機種別フォルダ1～3が作成され、フォルダ1には「Aさん」が撮影した画像データを収めたアルバム1、3、5が、フォルダ2には「Bさん」が撮影した画像データを

収めたアルバム4が、フォルダ3には「Cさん」が撮影した画像データを収めたアルバム2、6が、それぞれ格納されている。図6(b)は分類項目として企画内容(ゴルフ、旅行、飲み会)を指定し、フォルダを「旅行」、「飲み会」および「ゴルフ」で分類した場合における記録形態を例示している。この例では、「ゴルフ」、「飲み会」および「ゴルフ」のフォルダ1、2、3が作成され、フォルダ1には「旅行」のときに撮影した画像データを収めたアルバム1、3、5が、フォルダ2には「飲み会」のときに撮影した画像データを収めたアルバム4が、フォルダ3には「ゴルフ」のときに撮影した画像データを収めたアルバム2、6が、それぞれ格納されている。

【0009】上記のように、記録媒体300に画像データ10を記録する際、データを格納するフォルダを撮影者別に分類しておけば、オフィスなどにおいて、複数のデジタルスチルカメラ100で1台のデータ記録装置200を共用している場合でも、各人が自分の記録したデータを容易に検索することができるようになる。また、同一の人が同一の記録媒体200に画像データを記録する場合も、撮影日付別に画像データが管理されていれば、記録媒体200に記録されている多数の画像データの中から希望する画像データを探し出すことも容易になる。さらに、一般家庭などでデジタルスチルカメラ100を使用する場合においても、撮影日付および企画内容別(ゴルフ、旅行等)にアルバム(画像データ)の管理が行われれば、記録媒体200に記録した画像データの検索が容易になる。なお、この実施の形態では、デジタルスチルカメラ100で撮影した画像データを記録媒体300に記録する場合についての説明したが、デジタルスチルカメラ100などで録音した音声データを記録媒体300に記録する場合も同様である。

【0010】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1記載の発明に係るデータ記録装置によれば、外部機器から取り込んだデータが属性の共通するデータ別に別々のフォルダに格納されて記録媒体に記録されるので、記録後のデータの検索が容易となる。また、請求項2記載の発明に係るデータ記録装置によれば、外部機器から取り込んだデータが収録日付の共通するデータ別に別々のフォルダに格納されて記録媒体に記録されるので、記録後のデータの検索が請求項1の場合よりもさらに容易となる。また、請求項3記載の発明に係るデータ記録装置によれば、外部機器から取り込んだデータが機種別の共通するデータ別に別々のフォルダに格納されて記録媒体に記録されるので、記録後のデータの検索が請求項1の場合より

もさらに容易となる。また、請求項4記載の発明に係るデータ記録装置によれば、外部機器から取り込んだデータが、ユーザにより指定された分類項目(たとえば、撮影日付、撮影場所、撮影内容、企画内容など)別にフォルダの分類がなされ、分類項目の共通するデータ別に、別々のフォルダに格納されて記録媒体に記録されるので、記録後のデータの検索が請求項1の場合よりもさらに容易となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るデータ記録装置の実施の形態の一例を示す概略構成図である。

【図2】図1に示すデータ記録装置の処理動作を例示したフローチャートである。

【図3】(a)はフォルダを分類せずにデータを記録した場合の記録形態例を示す概念図、(b)は(a)と同じデータを記録する際、記録撮影日付情報をもとにデータを格納するフォルダを分類し、それぞれのデータを該当するフォルダに記録した場合の記録形態例を示す概念図である。

【図4】(a)はフォルダを分類せずにデータを記録した場合の記録形態例を示す概念図、(b)は(a)と同じデータを記録する際、機種情報をもとにデータを格納するフォルダを分類し、それぞれのデータを該当するフォルダに記録した場合の記録形態例を示す概念図である。

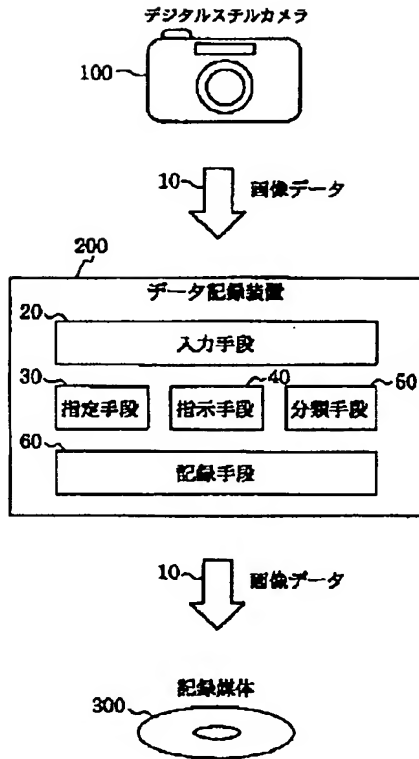
【図5】(a)はフォルダを分類せずにデータを記録した場合の記録形態例を示す概念図、(b)は(a)と同じデータを記録する際、撮影者別にデータを格納するフォルダを分類し、それぞれのデータを該当するフォルダに記録した場合の記録形態例を示す概念図である。

【図6】(a)はフォルダを分類せずにデータを記録した場合の記録形態例を示す概念図、(b)は(a)と同じデータを記録する際、企画内容別にデータを格納するフォルダを分類し、それぞれのデータを該当するフォルダに記録した場合の記録形態例を示す概念図である。

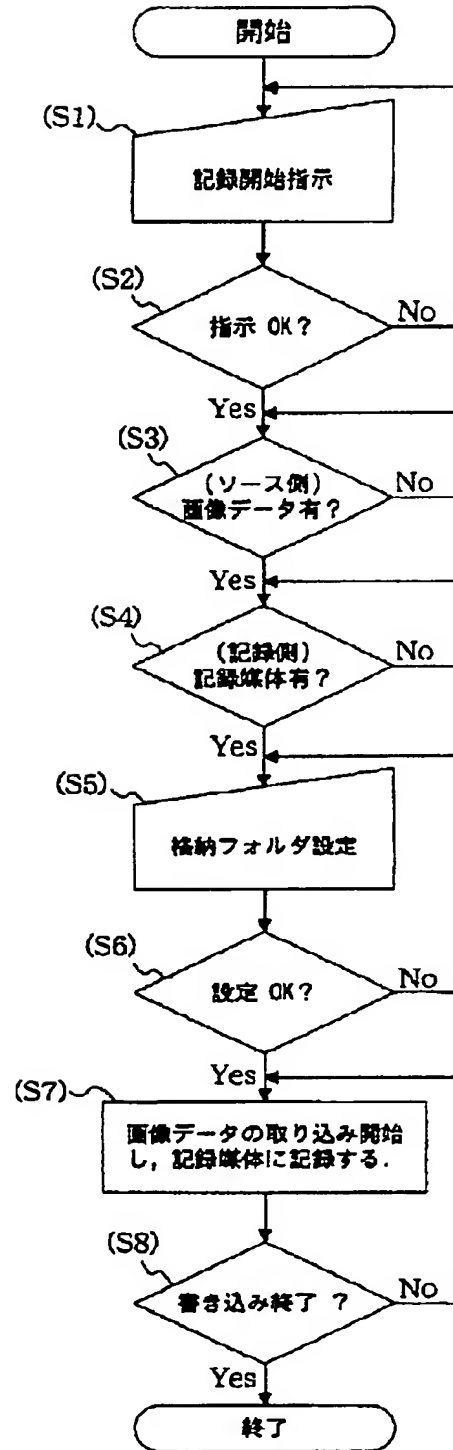
【符号の説明】

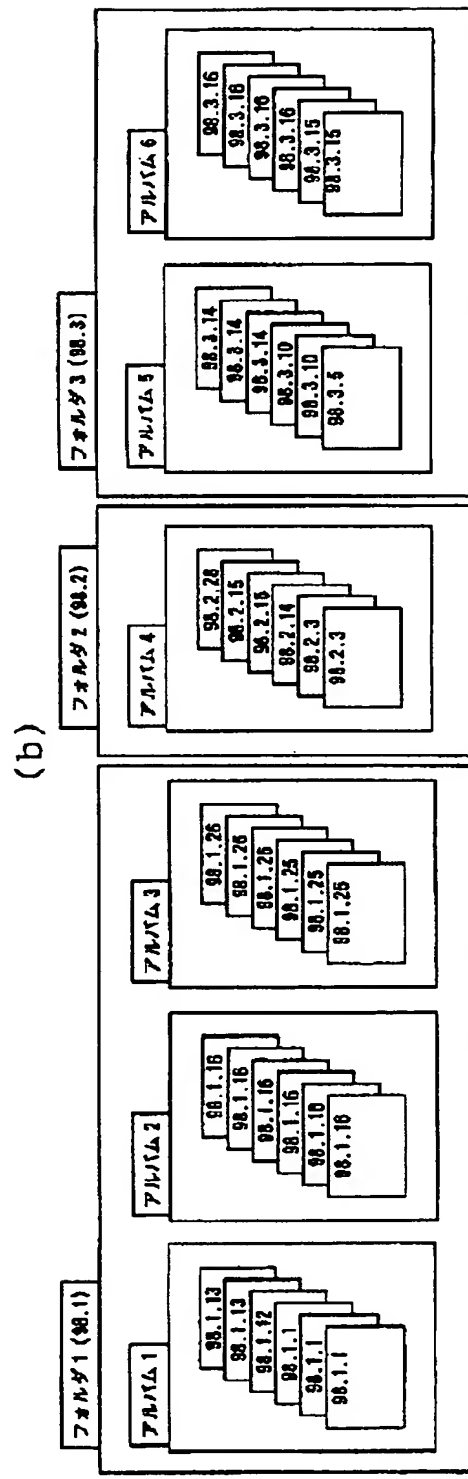
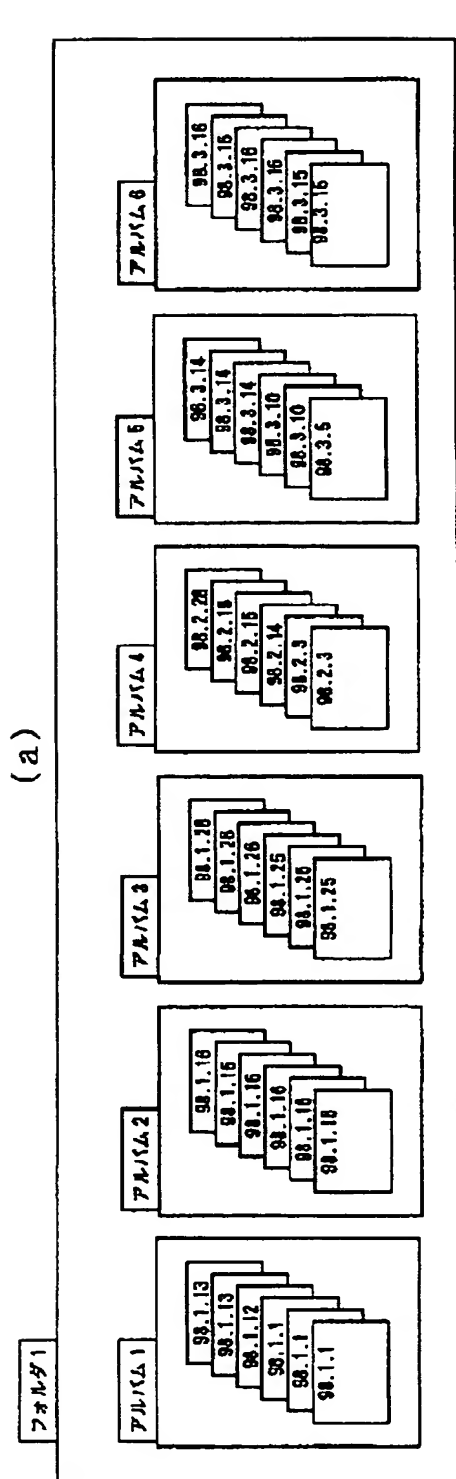
- 10：画像データ
- 20：入力手段
- 30：指定手段
- 40：指示手段
- 50：分類手段
- 60：記録手段
- 100：デジタルスチルカメラ(外部装置)
- 200：データ記録装置
- 300：記録媒体

【図 1】



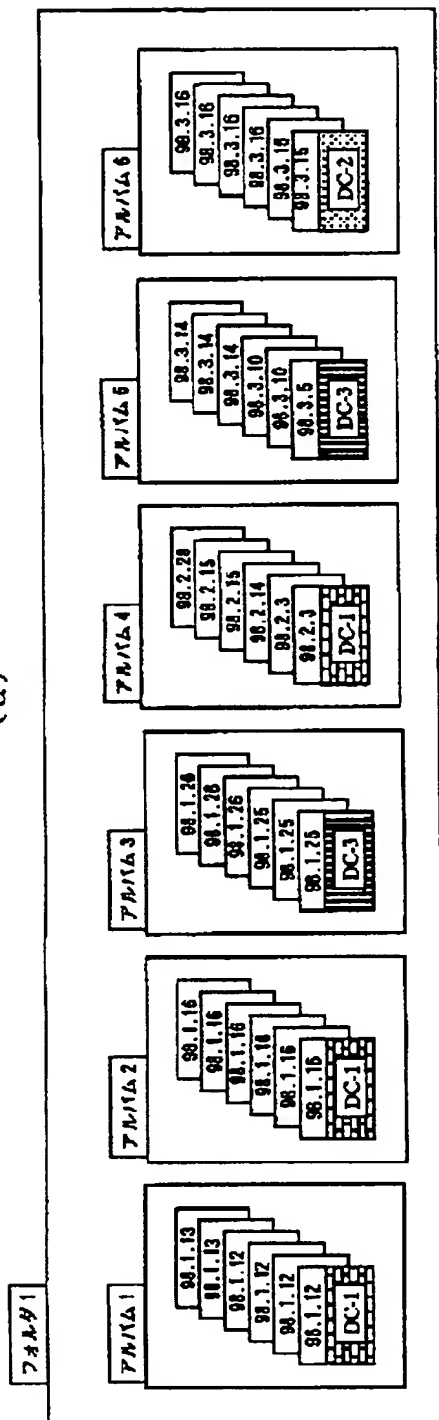
【図 2】



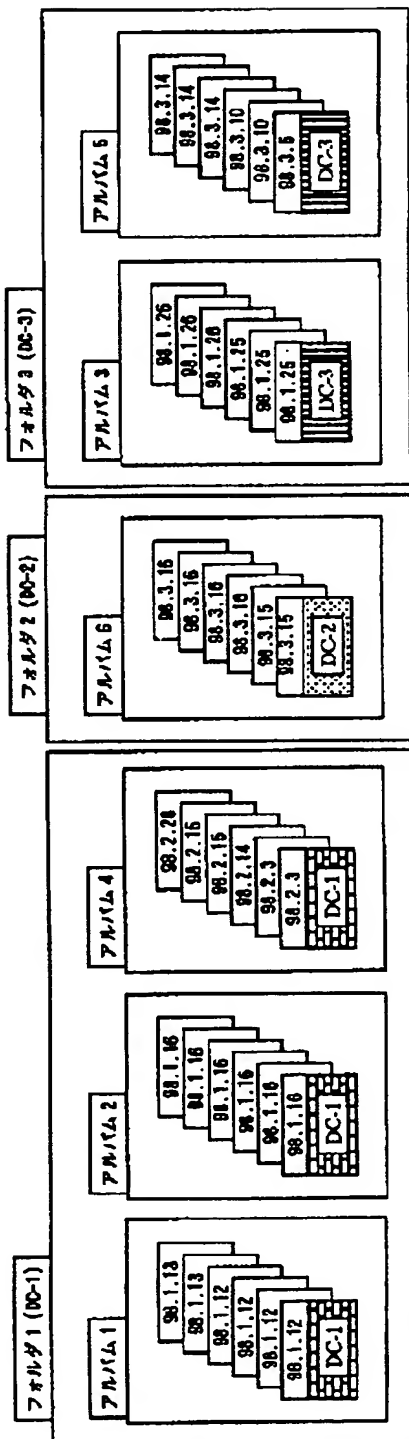


【図3】

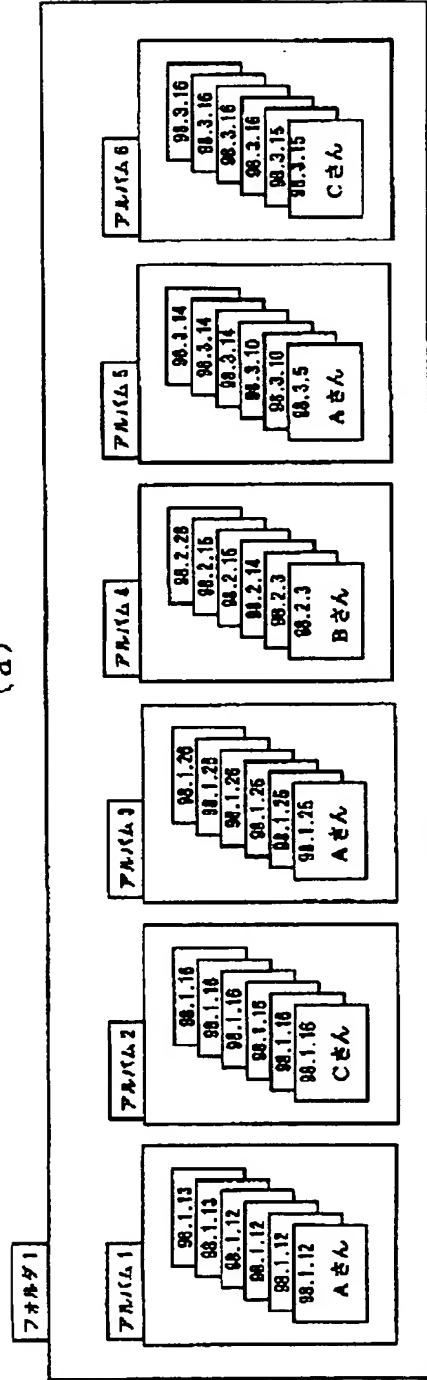
(a)



(b)



(a)



(b)

